

NPO法人 海に学ぶ体験活動協議会 第7回全国フォーラム

～海と生きる～

期日 平成25年2月2日(土) 13:30～17:30

会場 東京海洋大学品川キャンパス

楽水会館1階大会議室(鈴木善幸記念ホール)

閉会挨拶

小池 潔 氏(海に学ぶ体験活動協議会 副代表理事)

司会 これから閉会の挨拶に移りますけれども、閉会の挨拶の後、本日ご来場いただいた皆様全員での記念写真を撮りたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。また、その後、交流会にご参加の方は会場をご案内いたしますので、会場を出たホールにお集まりください。

それでは、閉会の挨拶をCNAC副代表理事の小池潔より賜りますので、よろしくお願いたします。

小池 皆様、1時半から5時30分の時間、お疲れさまでした。ご講演いただきました皆様、どうもありがとうございました。

子供は親の背を見て育つと申しますが、私も昨年、5月ぐらいにようやく次男坊を海に連れていきまして、シュノーケリングの体験をさせたんですけれども、非常に喜びまして、その帰りがけに「僕も大きくなったらお父さんみたいに海の仕事をやるよ」と。これは世代交代の次代につながるということを僕は実践したなと思って大喜びしていたんですけれども、わずか2カ月後の七夕の日に、短冊に書いてきたのはサッカー選手になりたいと書いていました。(笑)

私自身は次代に引き継ぐことは失敗してしまいましたが、先ほど穴原さんのスピーチを聞いていて、穴原さんはCNACができたころに大活躍されていた、つくっていらっしゃった、いわゆる第1世代と言ってもいいんじゃないかと思うんですが、環境学習をやっていたらっしゃった方の薫陶を受けて、モイヤーさんほか、海野さん、三好さんなどの薫陶を受けて、次世代に見事に開花して、これからさらに次の世代につながるキーパーソンになるんじゃないかなと思ひまして、非常に心強く、非常に世代がつながっているなというふうに安心いたしました。

きょうぜひ話を聞きたかったサーファーの堀さん、非常に刺激的な話で、本当に楽しかったです。サーフィンを通してつながっている仲間が、ビーチマナーをやろうと言ったときにすぐつながったという話は、海というキーワードを持っている人ならではのつながり方ということで、これも非常に参考になったと思います。

実際にCNACの会員の皆様で、各それぞれの地域で活躍していらっしゃる3つの事例をきょう伺いできたことも大変参考になりましたし、CNACの次の活動を考えるに当たって、たくさんのお話に富んだお話をいただけたと思います。

CNACは5年間の期間を迎え、7回目のフォーラムを迎えておりますが、いろいろと代表理事、副代表理事からお話がありましたけれども、これからの3年間でまたさらに新しい活動の展開を考えています。そんな中でキーになるのはやはり人とのつながりだと思ひます。この後、交流会もあり

ますが、私も最近CNACに加わらせていただきましたが、CNACの主な活動の方針というのは、会議よりもむしろ夜の宴席で決まるというような伝統があるようでございますので(笑)、ぜひ交流会のほうにもたくさんの方に参加していただきまして、コミュニケーションをとっていただいて、いろんな視点を持つ、海を見てきた方のご意見、そこから醸し出される何かがCNACの何かにつながればいいかなと思います。

長くなりました。これから交流会がありますので、そのときにぜひたくさんお話をしたいと思います。本日は遠くからお越しいただいた演者の皆様、それから多数お越しいただきました皆様、本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。(拍手)

司会 小池副代表理事、ありがとうございました。

それでは、最後の写真撮影に移りますので、皆様、前のスペースにご集合ください。